



今月の表紙は、9月20日(土)に幸田中央公園で行われた愛知駅伝幸田町代表選手選考会小学生男子の部での写真です。結果は14ページ参照。選手は、12月6日(土)にモリコロパークで行われる本番で走ります。応援しますよ。フレイフレー!

今月の表紙

みんなの 広場

皆さんからのお便りをお待ちしています

〒444-0192 菱池字元林1-1 幸田町役場 広報こうた係
E-mail:kikakujo@town.kota.lg.jp ☎62-1111 (内線344)
FAX63-5139

幸田の民話

「しんざんの龍」

菱池

大正時代の初めのことでした。岩堀村の人たちがこんな話をしていました。

「おれたちにとって、お蚕さんは、そりゃありがたいもんだ。神様みたいなもんだ。」

「そうだそうだ。米や麦は1年に一度、じゃがいもや野菜は二度、それに比べて、お蚕さんはどうだ。春蚕、夏蚕、秋蚕。そのほかにも、人手と桑さえあればもっと飼うことができる。しかも、そのたんびに、お金になる。」

「このお蚕さんに感謝し、もっと養蚕が盛んになるように、お社を建てたらどうだろうか。」

そんな村の人たちの話を聞いた稲荷山の分教場の清水豊先生は、「そりゃあいい心がけた。お蚕さんを祭るには、まず、お蚕の神様をお迎えし、次に、その神様をお祭りするお社を建てて、そのお社に彫り物も欲しいですね。」

「おっしゃるとおりです。で、どのようにしたらよいですか。」

「そうですね。お社のことですが、

安城の今村の白山神社が近く新しく建てかえられるという話を聞いています。さっそく聞いてみましょうか。」

「お願いします。どこの神様をお迎えするのがいいでしょうか。」

しばらくして、清水豊先生が、村の人に話されました。

「先日お話のあったお蚕さんの神様は、きぬがさ大明神はどうでしょうか。養蚕がさかんな千葉県の人たちがあつく信仰している神様です。それから、彫り物のことですが、飛騨のたくみの宮大工松村甚五郎利勝の三代目、和左衛門政勝が江戸の初めに彫った水呑み龍の彫り物が、静岡県掛川の陽光院にあるということです。よく事情を話してゆずってもらってはどうでしょうか。」

今はもうなくなりましたが、欠間の御嶽教志真山教会は、こうしたお蚕さんをあがめる岩堀の村の人たちのあつい信仰によって建てられたものです。水呑みの龍の彫り物は、とても名高いものでした。



【書道】

幸田中3 今川 香澄 さん

みんなの作品展!



【書道】

豊坂小6 加藤 真佑 さん

皆さんの作品を募集します。応募方法は、はがき裏書きもしくは作品を写真に撮りタイトルと作者名(ペンネーム可)をご記入のうえ、広報こうた係までお送りください(デジカメ写真の場合はメールで!)

清(中国)へと伸びていきました。そこに独自の昆布食文化が生まれました。例えば、大阪ではしょうゆで煮つくだ煮にしたり、沖縄では豚肉や野菜といためたり、煮こんだりして食べています。

『こんぶの日』には、この時期、その年に収穫された昆布が新昆布として市場に出回ることから、海からの贈り物として感謝する気持ちも込められています。

鎌倉中期以降、昆布の交易船が北海道の松前と本州の間を盛んに行き交うようになり江戸時代には大阪まで運ばれるようになりました。昆布を運んだ航路は「こんぶロード」と呼ばれ、九州、琉球王国、

日本では「よろこ(ん)ぶ」に通ずることから、祝儀などに用いられています。これは単なる語呂合わせではなく、昆布はミネラルが豊富で、カルシウム・ビタミン・食物繊維が多く含まれています。昆布はアルカリ性食品としても優れており、酸性に傾いた体をアルカリ性に戻す働きもあります。

今月の記念日

11月15日は「こんぶの日」

11月15日は「七五三」。この日のお祝いに、育ち盛りの子どもが栄養豊富な昆布を食べて元気に育ってほしいという願いと、昆布を食べる習慣をつけてほしいという思いから、1982年に社団法人日本昆布協会が決めました。



青春トークリレー

△△第188走者△△

いしかわ **まみ**
石川 真美 さん

驚田区在住 25歳 団体職員

身長 154cm B型

好きなタイプ 一緒にいておもしろい人

好きな芸能人 平井 堅

私は生まれも育ちも幸田町です。働いているところも幸田町内です。就職してから、私より年齢の多いかたと話す機会が増えて、勉強になることもたくさんあるのですが、自分が思っていたより幸田のことを知らないんだなと気づきました。もっと幸田を探索して、みんなに教えてあげられるくらいになりたいと思っています。

1年ほど前からお茶とお花のおけいこに通っています。お茶はいろいろな作法があるので、少しずつ覚えていこうと思っています。お花もいつもどんな花があるのか楽しみにしています。次は着物が1人で着ることができるようになるのが目標です。

△△秋も深まり、次第に冬の足音が聞こえてくる今日この頃となりました。秋の夜長にのんびりと本を読んだり・理想です。小学校体育大会の取材に行きました。町内6校の6年生が集結し走ったり、跳んだり、投げたりしました。今回は千代が男子とボール投げ女子に新記録が出ました。記録と言えは、走り高跳び男子の記録は1.155mです。なんと現在オリックス・パファローズに所属する柴田君が持っているのです。(P21参照)さすがに運動神経が優れていたのですね。

私は、今年の初め3ヶ月間毎朝、走ったのですが、今はそのときに買ったランニングシューズが泣いています。またそろそろ走ろうかなあ。有言不実行が始まった。うっ！(R)▽秋のお祭りもほぼ終わりましたが、出店で綿菓子やリンゴ飴を見つけると、大人でもなぜか買いたい衝動に駆られてしまうのは自分だけでしょうか。ところでもう年末がすぐそこまで来ています。年末と言えは紅白ですが、年賀状を作るのも好例の行事ですよ。来年の図柄を決めるのに早くも悩み始めています。(T)

はろーキッズ

掲載写真を印刷してプレゼント。希望者は企画政策課まで。



「足が強いよ。見てよ！」と子どもたちは張り切って走り回っています。里保育園の園庭はとても広く、周りの景色も絶景です。子どもたちが外で遊んでいると、散歩するお年寄りから「元気がいいなーがんばれよー」「もっと手を動かすといいぞー」とアド

わんぱくだよー
「某月某日」
「里保育園」

里っ子は元気いっぱいーの巻

バイスを受けることもあります。子どもたちはますますやる気満々になり、遊びも盛り上がります。さところフェスティバルでは保護者だけでなく、近くのお年寄りや里保育園を卒園したOBの子どもたちも参加してくれて、とても盛り上が



りました。地域の皆さんの暖かい心を感じつつ、楽しいふれあいと思いがたくさんできたことでしょう。これからも季節を肌で感じながら、充実した園生活を過ごしていきたいと思っています。

ちと編集者のひびり